

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ) 説明書・同意書

咽頭・食道・胃・十二指腸などの粘膜を観察し、癌・潰瘍・ポリープ・炎症などの有無や病気の程度を調べます。

リスクのご説明（経口法・経鼻法）

- ・内視鏡の最中に、所見のあった部位の組織を採取することがあります。
- ・組織の採取は病状の確定に必要なものですが、術者が細心の注意を払っても、組織採取に伴ってごくまれに出血や穿孔（穴があくこと）などの合併症を起こすことがあります。
- ・また、のどの麻酔薬によるトラブルが発生する可能性もあります。（頻度 0.062%）
- ・万が一、合併症が起きた場合には最善の処置、治療が受けられるように手配いたします。
- ・入院や緊急の処置・手術が必要になることもあります。※他院へご紹介となります。

経鼻内視鏡検査は、細い内視鏡を鼻から挿入する検査方法です。

経口法に比べ苦痛は少ないのですが、残念ながら危険はゼロではありません。

1. 鼻の麻酔と検査時に、鼻に違和感もしくは痛みを感じる場合があります。
鼻腔が狭く内視鏡が挿入できない場合がまれにあります。
鼻からの挿入が困難な場合は、口から挿入する事になります。
2. 経鼻法は生検まで行える内視鏡検査ではありますが、悪性が疑われるケースでは、経口法による再検査が必要な場合があります。
経鼻法は健康診断目的で受けるには問題がないと思われませんが、有症状者や胃レントゲン検査で異常を指摘された方への検査には経口法が適切です。
3. 内視鏡の擦過により鼻出血をおこすことがまれにあります。（頻度3～4%）
鼻出血を起こした場合は、すぐに止血処置を行います。
耳鼻科に受診していただく事もあります。

上記リスクを御承知・御納得の上で、検査をお受けになるかどうかを御判断頂きたく存じます。

以上、ご説明に納得された方は同意書に御署名の上、検査前に受付にご提出ください。

同意書

私は胃内視鏡検査を受けるにあたり、検査の方法・内容・必要性を理解し、これに伴う危険性についても了解しました。
その上で、胃内視鏡検査を受けることを希望いたします。

年 月 日 ご署名 (続柄)



あさがお内視鏡・訪問クリニック

(主治医氏名) 柳下 淳